

| 情報工学科 | | | 中国文化A | | | | |
|---|------|--|--------|---|---------|----|-------|
| 学年 | 第5学年 | 担当教員名 | 田 野 | | | | |
| 単位数・期間 | | 1単位 | 前期 | 週当りの開講回数 | 1回 | 選択 | 学修単位3 |
| 授業の目標と概要 | | 諸外国の伝統・文化の理解を深めることは、国際的技術者として必須である。 この科目では、近年、特に経済的に日本との緊密度が高まっている中国に焦点を当て、日本との歴史的関係・文化的相違や、現代における日本との関係について学習し、中国文化への理解を深めることを目的とする。 | | | | | |
| | | 釧路高専目標 | A:100% | | JABEE目標 | a | |
| 履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等) | | 外国文化を学ぶことは、日本を知ることにつながる。技術者として、歴史、文化を学ぶことは、技術を学ぶことと同様に重要である。 | | | | | |
| 到達目標 | | 中国の歴史を理解する。 中国文化と日本文化の違いを理解する。 現代における日本と中国の関係を理解する。 | | | | | |
| 成績評価方法 | | 定期試験(100%)。ただし、合格者については、課題提出による加点を行う。 2回の定期試験の平均が60点以上で合格である。 | | | | | |
| テキスト・参考書 | | 教員作成のプリントを授業の中で配布する。 | | | | | |
| メッセージ | | 中国は歴史的にも、また近年は特に経済的に日本にとって重要な国である。 中国についての理解を深めることは、アジアに目をむけることであり、「アジアの中の日本」を知ることにつながる。 | | | | | |
| 授 業 内 容 | | | | | | | |
| 授業項目 | | | | 授業項目ごとの達成目標 | | | |
| 中国の歴史と日本(古代、近代、現代) 中国と日本の文化的相違(日常生活、学校制度、経済) | | | | 中国の歴史について理解する。 歴史の上での中国と日本の関係について理解する。 日常生活、学校制度、経済制度などにおける中国と日本の文化的な相違について知り、中国理解に努める。 | | | |
| 前期中間試験 | | | | 実施する | | | |
| 中国語と日本語(文字、文法、日常会話) 現代の経済的日中関係(輸出入、中国の企業制度、中国における日本企業) | | | | 簡易字体と繁体字、日本の漢字の相違について理解する。 中国語の文法を知る。 中国語による簡単な日常会話ができる。 現在の中国と日本経済的関係を理解する。 中国と日本の企業制度の違いを理解する。 中国における日本企業の状況を知る。 | | | |
| 前期期末試験 | | | | 実施する | | | |
| | | | | | | | |
| 後期中間試験 | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 後期期末試験 | | | | | | | |